



参議院議員

日本共産党 JCP HOPE



ito\_gaku 検索

# 伊藤 岳 ニュースレター

2020年3月17日 NO.6



参議院事務所 〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609  
埼玉県事務所 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755  
E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

発行：日本共産党国会議員団埼玉事務所

## 新型コロナ いのちと健康をまもる思い切った予算を！ 安倍総理 (3/11) 高市総務大臣 (3/10) に迫る

### 学童保育の実情を把握して十分な対策を

伊藤岳議員は、10日に総務委員会、11日に参議院本会議で質問にたち、新型コロナウイルス感染症対策の第2弾が2019年度の予備費の範囲にとどまり危機に対応していないと指摘し、「国民生活を守る思い切った予算措置を」と求めました。(詳しい内容はP2へ)

**安倍首相** ▶(学童保育の) 人件費や水光熱費、マスクや消毒液など追加的に発生する費用はすべて国が負担

**厚労副大臣** ▶(学童保育の) 「『民間には補助が来ないかも』との心配から保護者に保育料 1000 円を追加徴収したところがあった。現場の学童保育にこんな思いをさせないでほしい」との問いに「10/10 国庫負担し、保護者には負担を求めない。」

### 自治体リストラをやめて 地域医療の体制づくりを

また伊藤議員は、「自治体リストラをやめて地域の公衆衛生、感染症対策の抜本的強化を」と求めました。高市大臣は、感染症対策の抜本的強化を厚労省にフォロー・勧告していくと述べた。

## 感染症対策のため公立・公的病院統廃合はやめよ

3月11日の参議院本会議で、伊藤議員は、感染症指定医療機関の6割が公立病院であり、感染症対策で重大な危機的状況の時に公立・公的病院の再編統合はやめるべきだと追及しました。

安倍首相は「地域医療構想は、地域の医療機関が担うべき役割や在り方などを機械的に決めるものではない。公立・公的医療機関は、ほとんどの感染症病床を担い、感染症対策において重要な役割を果たしている」との認識を示しました。

この質問に先立ち伊藤議員は、3月2日に再編統会議論の対象となっている「さいたま市北部医療センター」を訪問し、黒田豊院長から話を伺いました。

この病院は、昨年3月に新築移転したばかり。黒田院長は、「旧病院の時代の少ない『がん治療、救急受け入れ』のデータで評価されるのはおかしい」「現在は医療機関と連携しながら地域医療をになっっている」と述べ悔しさをにじませました。



北部医療センターにて(3月2日)

参議院本会議場で質問を行う伊藤議員と安倍総理(3月11日)

# 現場の声が政治を動かす

突然の休校で混乱をきたしている学童保育の問題では、次のような回答がありました。

埼玉学童保育連絡協議会の森川事務局長にお話を伺う伊藤議員(3月5日)



▶学童保育について1日1万200円の追加交付を決めていたが、現場の声をきき、朝から開所した場合3万200円まで引き上げる。また、新規に開所した場合、最高6万2000円まで支給する。(以上「全額国庫負担で」高市大臣)

▶「利用を控えた世帯の保育料分の補填も全額国庫負担ということでもいいのか？」との問いに「これ

は運営費に充てていただくということで設けておりますので、全体の運営費の中で賄っていただきたい」(厚生労働省)

▶小学校が休校し始めた3月2日に遡及して交付要綱を適用する。(高市総務大臣)

▶「濃厚接触防止のための学校施設利用について理解が得られない自治体があるが」の問いに「改めてQ&Aなどで徹底をしたい」(厚生労働省)

▶マスクの確保については、需給両面から対策に取り組んでいる(安倍総理)

さらに、伊藤議員はフリーランス、自営業者、演劇、音楽関係者の生活が支えられる給付制度を求めました。

▶「フリーランスのみなさんが、仕事の減少は所得の減少に直結するという悲痛な叫びをあげる中、政府はようやく日額4100円の休業補償を緊急対応策に盛り込んだ。しかし、もともと少ない会社員などへの補償額の半分。あまりにも不十分です」との伊藤議員の質問に「感染拡大によって休職や休業に直面し、生活に困難を生じている方については、返済免除条件付きの個人向け緊急小口資金の特例を創設する」(安倍総理)などと答弁しました。



## 学童問題「機敏な対応はさすが」

伊藤議員の質問を最初から最後まで漏らさず聞いたという埼玉学童保育連絡協議会の森川鉄雄事務局次長から、「安倍首相による突然の休校要請によって、まさに現場では混乱のさなかにあったが、伊藤さんが質問の予定を変更して学童保育の問題を取り上げてくれたことによって重要なことが明らかになった。」「機敏に対応してもらってよかった。現場で困っている問題がすぐ首相答弁になって返ってくるのは、さすがだと思った」との感想が寄せられました。

「翌日議会で質問できた」…戸田市議団

また、1000円の追加保育料を徴収せざるを得ない民間学童の情報寄せた戸田・武藤葉子市議は、「学童関係者からたくさんの方が窮状が寄せられていた。伊藤さんが引き出した答弁を使って、市にも保護者や事業所の負担なしで対応するよう求めることができた」と、また団長の花井伸子市議は、「岳さんは『質問するとき一番大事なものは生の声なんだ』と言っていた。団で取りまとめたところすぐ国会で取り上げてくれてうれしい」との感想が寄せられました。情報提供いただいたすべての皆さん、ありがとうございました。